

平成22年4月5日

国土交通省総合政策局環境政策課
交通エコロジー・モビリティ財団

交通・観光分野におけるカーボンオフセットの推進について
～本日、「交通・観光カーボンオフセット支援システム」で初のオフセットが実施されました～

- 山梨県甲府市の高校の修学旅行の移動で排出されたCO₂を、同市の旅行会社が「交通・観光カーボンオフセット支援システム」を利用してオフセット
- 長野県飯田市のタクシー事業者も、利用団体・企業等向けチケットで、同支援システムを利用したカーボンオフセットのサービスを開始

1. 交通・観光カーボンオフセット支援システムの利用

(1) 高校の修学旅行でのカーボンオフセット

オフセット実施事業者：株式会社 YBS T&L^{※1}(山梨県甲府市)オフセット対象：東海大学甲府高等学校の修学旅行^{※2}で、航空機・バスでの移動により排出されたCO₂のうち10%(約9.6トン、約4万8千円に相当)

※1 株式会社 YBS T&L: 山梨日日新聞社、YBS 山梨放送等からなる

山日 YBS グループに属し、旅行事業と保険・調査事業を営む企業。

※2 期間: 3/5~8(3泊4日)、旅行先: 沖縄、参加人数: 268名(2年生)

(2) タクシーの団体・企業向けチケットでのカーボンオフセット

オフセット実施事業者：株式会社おさひめコーポレーション[※](長野県飯田市)オフセット対象：団体・企業等向けのチケットによるタクシー利用(今年2月以降)からのCO₂排出

※株式会社おさひめコーポレーション: 長野県でタクシー事業や介護サービス事業、自動車整備事業、フィットネス事業などを営む企業。

2. 交通・観光カーボンオフセット支援システムの概要[※]

- ・交通エコロジー・モビリティ財団がシステムを構築(国土交通省推奨)し、昨年12月1日より利用申請受付を開始
 - ・登録事業者は、WEBを通じてCO₂排出量の算定、クレジットの購入、オフセットの実施ができ、中小の事業者でも容易にカーボンオフセットに取り組むことが可能
 - ・対象業界は、航空、鉄道、バス、タクシー、宅配、レンタカー、旅客船、ホテル、旅行
- ※システムの詳細や利用申請書等は財団 HP(<http://www.ecomo.or.jp/>)に掲載。

本件に関する問い合わせ

総合政策局 環境政策課 電話: 03-5253-8111(代表)、03-5253-8263(直通)

担当: 中村(24-312)、松村(24-415)

交通エコロジー・モビリティ財団 電話: 03-3221-7636

担当: 加藤^{いちまる}、市丸